

# オリックス生命の トランスフォーメーション推進について

2026年4月6日

# 目次

---

1. オリックス生命理念
2. 理念に基づくお客さまに寄り添う取組み
3. 社会構造の変化とテクノロジーの進化
4. ビジネスモデル（成長戦略）
5. トランスフォーメーション（ビジネス変革）の推進
6. トランスフォーメーションの推進体制
7. 人材の育成・確保
8. ITシステム環境の整備に向けた取組み
9. トランスフォーメーションに係るKPIの設定

# 1. オリックス生命理念

オリックス生命理念「想いを、心に響くカタチに。」に基づき、社員一人ひとりがお客さまの想いに寄り添い、お客さまから信頼されご満足いただける生命保険会社を目指しています。

## 想いを、心に響くカタチに。

生命保険は、自分や家族の生活を守る大切な備えです。

生命保険がお役に立つ…それは、本当はあって欲しくない出来事が起こったときです。

そのときに、お客さまに保険金・給付金を確実にお届けし、寄り添い支えることが生命保険会社の使命です。

その使命を達成し、お客さまにオリックス生命を選んで良かったと満足いただくため、

私たちは、「お一人おひとりの想いに共感し、心地よい距離感で寄り添う存在」を目指しています。

## 想いを、心に響くカタチに。

この理念は、私たちが仕事をするうえでの原点です。

“想い”には、お客さまの気持ち と 私たちがお客さまを想う気持ち を込めています。

“心に響くカタチ”には、お客さまに「良かった」と感じていただける仕事をする意志 を込めています。

オリックス生命は、この理念に基づき、

永きにわたり社会と人びとの安心に貢献していきます。

## 2. 理念に基づくお客さまに寄り添う取組み

当社は、「オリックス生命理念」に基づき、人生100年時代を生きるお客さまに寄り添い、将来世代を含むすべての人々の安心に貢献し続けることで、当社の持続的な企業価値の向上と社会課題の解決を目指します。

### 人生100年時代を生きるあらゆる世代の人々に向けて・・・保険事業を通じた「安心」の提供

#### ①商品・サービス開発



人生100年時代を生きるあらゆる層が抱える社会課題に対し、その解決に資する商品・サービスを開発します

#### ②社会のセーフティネット



お客さまのそれぞれのライフスタイルに応じたつながりの拡充を図り、最適な商品・サービスをご提供することで、社会のセーフティネットとしての保険サービスの普及を目指します

#### ③お客さま満足度の向上



ご加入から保険金のお支払いまでのお客さま体験価値（CX）を重視した取組強化により、お客さま満足度の向上を目指します

### 3. 社会構造の変化とテクノロジーの進化

生産年齢人口の減少、少子化・長寿化を背景とした高齢化の進展、といった社会構造の変化が急速に進んでいます。このような中、持続的な成長を実現するためには、急速に進化するAIを有効に活用し、スピード感をもって変革を進めることが重要です。



#### 社会構造の変化

##### 生産年齢人口は減少、2050年には高齢化率が40%に

- 生産年齢人口は減少が続き、人口全体に占める割合は主要7か国で最も低い水準。今後も減少傾向は続き、将来に向けて人材確保が困難になる。<sup>※1</sup>
- 今後更に少子高齢化が進行、2050年には65歳以上の高齢化率が40%に迫る見込み。<sup>※2</sup>
- 働き方、社会保障制度、消費構造（高齢者向けへのシフト）の転換が不可欠となっている。



#### テクノロジーの進化

##### AIの進化による生産性向上や成長機会の拡大

- 2022年頃からの生成AIの普及により、第4次AIブームに突入。企業活動や日常生活に急速に浸透し、働き方、生活様式に大きな影響を与えている。
- さらに、生成AIは自律型AI（AIエージェント）へと進化。生成AIのようなプロンプトを必要とせず、高度で複雑なタスクを自己判断によって実行できるため、活用の可能性がさらに広がる。

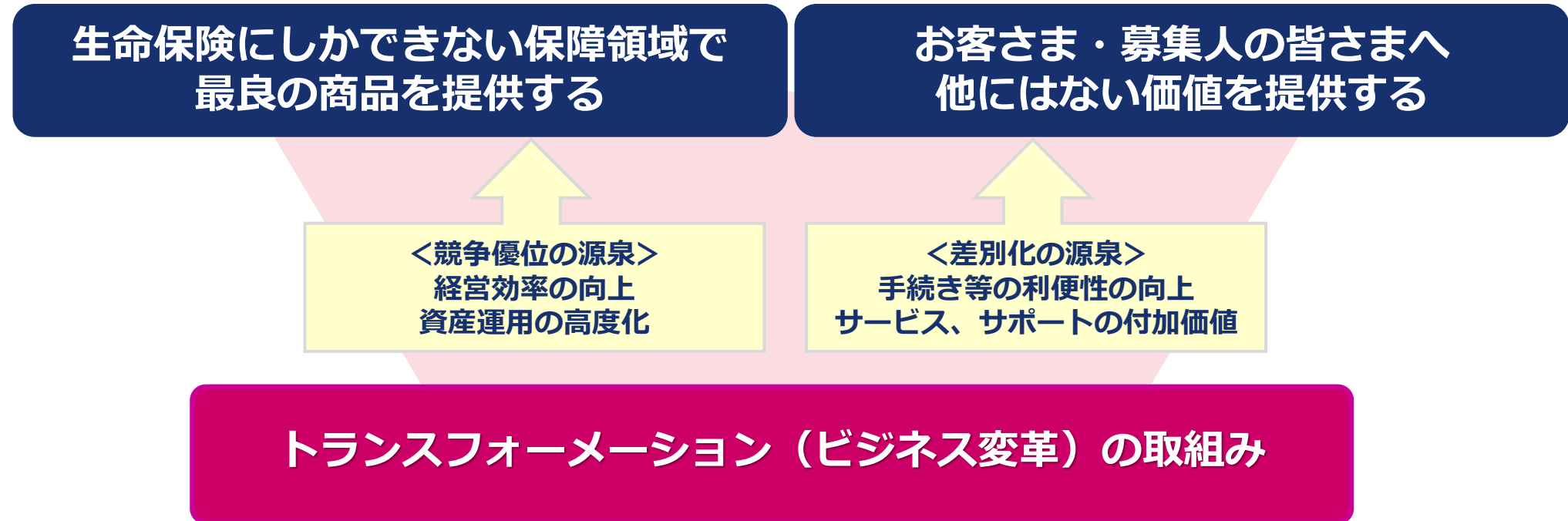
※1 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2025」を参照 (<https://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/databook/2025/documents/Databook2025.pdf>)

※2 総務省「統計トピックス No.146 統計からみた我が国の高齢者 - 「敬老の日」にちなんで -」を参照 (<https://www.stat.go.jp/data/topics/pdf/topics146.pdf>)

## 4. ビジネスモデル（成長戦略）

当社は、生命保険にしかできない保障領域で最良の商品を提供するとともに、お客さま・募集人の皆さまへ他にはない価値を提供することで、持続的な成長と企業価値の向上を目指します。

そして、社会構造の変化やテクノロジーの進化が加速する中で、これらを実現するためには、トランスフォーメーション（ビジネスの変革）が不可欠です。



# 5. トランスフォーメーション（ビジネス変革）の推進

AIとデータの戦略的活用により、トランスフォーメーション（ビジネス変革）の取組みを推進し、人に依存しないオペレーションの実現や新たな価値の創造を目指します。

## トランスフォーメーション推進の取組み

## 当社ならではの価値を生み出す取組み



**① 人に依存しないオペレーション 経営効率の向上**  
 査定やコールセンター等、お客さま向けの高度かつ専門的な業務へAIを導入し、飛躍的な効率向上と品質向上を目指すとともに、付加価値を生む業務への人材シフトを図ります

**② お客さま・募集人のみなさまへ 他にはない価値を提供**  
 社内データやAIの活用等を通じたお客さま利便性の向上、募集人のみなさまへのデータドリブンな価値ある提案やサポートを推進し、選ばれ続ける会社を目指します

**データ基盤の構築・整備**  
 ビジネス部門が必要なデータを迅速に活用できる環境を構築します  
 AI Readyなデータを整備します

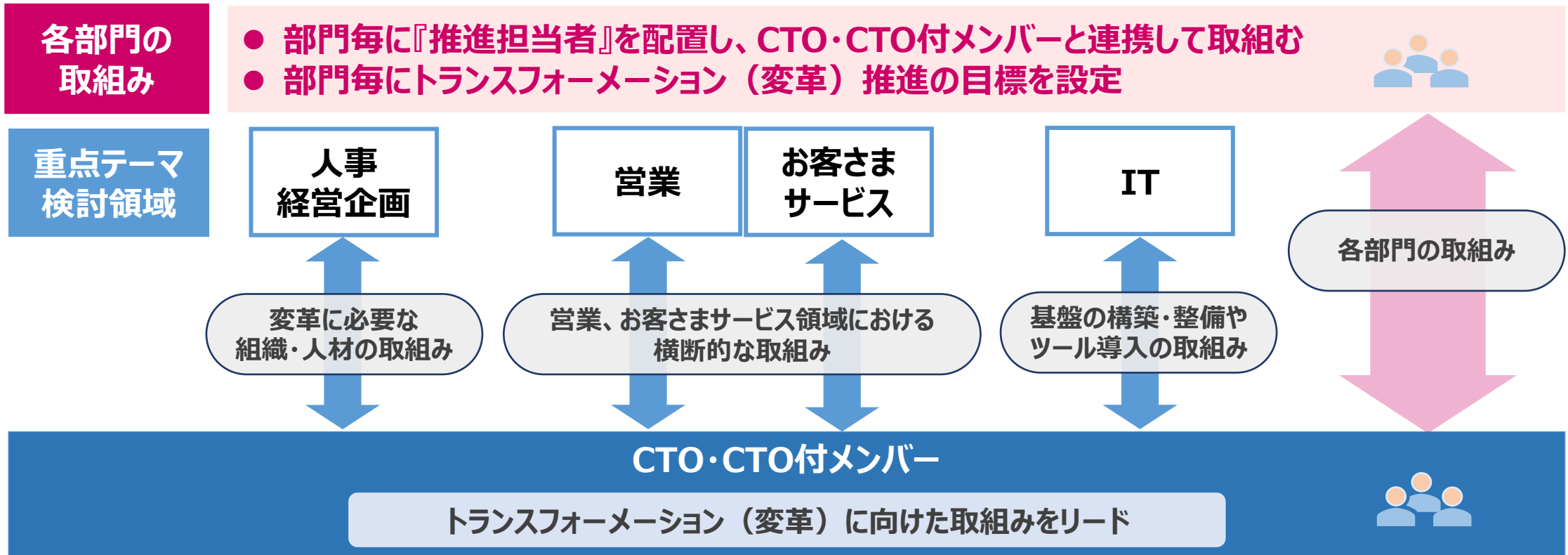
**業務・ナレッジ基盤の整備**

**③ AIエージェントを社員が市民開発できる環境の構築を進め、自主的に業務を改善・効率化できる環境を整備します。**

**④ データ基盤により民主化したデータをAI等で分析・参照することにより、社内の意思決定の高度化や、有識者の知見の共有化を進めてまいります。**

## 6. トランスフォーメーションの推進体制

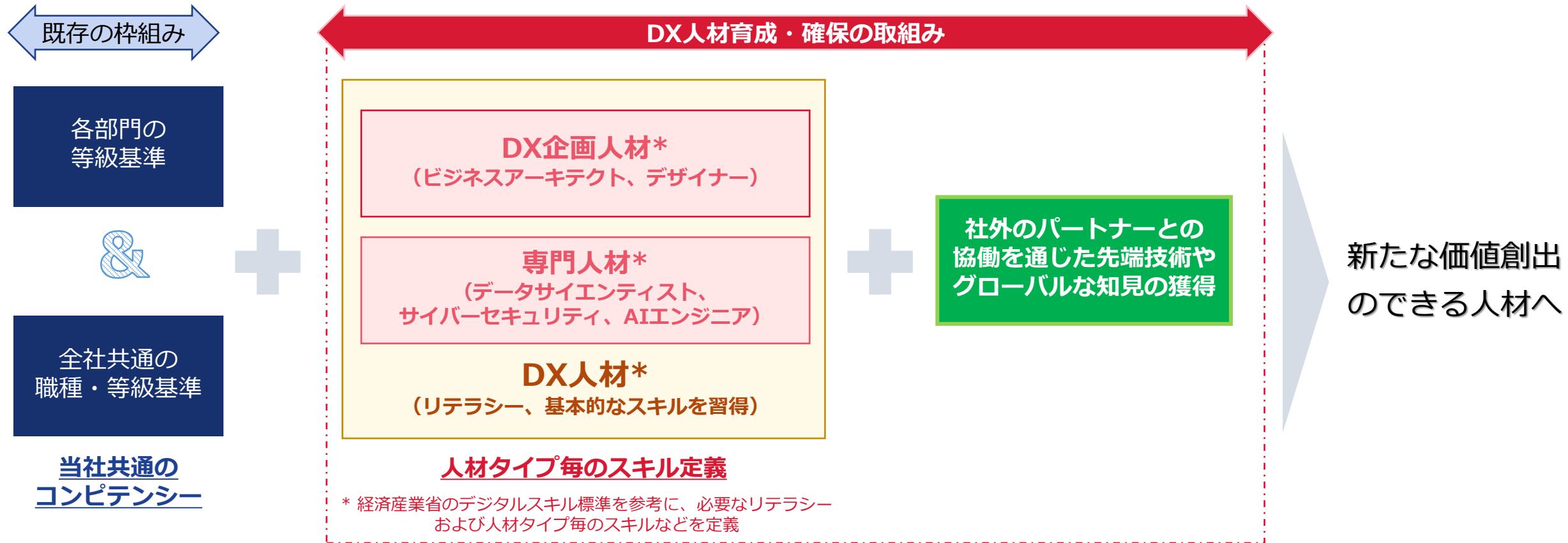
当社では、デジタル技術等を活用したビジネス変革の取組みの統括責任者としてCTO（Chief Transformation Officer）を配置しています。CTOとCTO付メンバーが各領域とともに重点テーマに取り組むとともに、各部門の推進担当者と連携して、全社的なトランスフォーメーションの動きを加速させていきます。



※CTOの主な役割は次の6つです。①全社的な変革に関する取組み方針の策定②変革に関する重要施策の企画・推進③ボトムアップ施策の推進・管理、情報連携④新技術の調査、活用ケースの研究と導入の推進、外部の専門家やベンダー等とのリレーション構築⑤データマネジメント基盤の構築と態勢の整備、データ利活用支援⑥変革に必要な組織・人材に関する取組みの検討

# 7. 人材の育成・確保

現行の職種・等級基準に加え、DXの役割に応じたスキルを定義して、DX人材の育成・確保の取組みを進めます。特に、ビジネス変革の取組みを加速させる観点から、企画人材の育成・確保を最優先で推進します。また、社外の企業、学術機関などとも連携してグローバルな知見の習得も進め、価値創出を目指します。



## 8. ITシステム環境の整備に向けた取組み

トランスフォーメーションを支える基盤として、ITシステム的环境や管理態勢を戦略的に構築・整備します。

### AI・データ基盤の 構築・整備

社内の構造化・非構造化データをAIや社員が利活用できる基盤を整備し、データを民主化することで、高度な業務の自動化や新たな価値創造の前提となる社内インフラを整えます。

### モダナイゼーションの加速

商品開発のスピード向上を図るとともに、ビジネス環境の変化に迅速に対応できる基盤を構築すべく、ITシステムのモダナイゼーションを進めます。

### ITオペレーションの効率化

AIを活用したツール導入等により、運用負荷軽減と品質向上の両立を目指します。

### サイバーセキュリティ 管理態勢の強化

セキュリティ監視の強化、インシデント対応力の向上を図ります。また、AI、クラウドサービスの利活用拡大に対応し得るセキュリティリスク管理態勢を整備します。

## 9. トランスフォーメーションに係るKPIの設定

トランスフォーメーションの達成度については、以下のような状況をモニタリングし、継続的に取組みの高度化を図っていきます。



新規のAI導入（PoC含む）の状況



AI導入による業務の自動化・効率化、および付加価値業務への人材シフトの状況



お客さまや募集人の皆さまの体験価値に関する状況



DX人材の育成・確保に関する状況